

第48学年週刊情報誌 学年通信

48回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生
発行所 〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www.2hyogo-c.ed.jp/weblog2/kawadani-hs/

紙面から

- | | | | | |
|---------|-------------|-----------|------------|-----------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3月の行事予定 | 模試模試カメよカメさん | イカ高湖出現厚氷塊 | 進級かけた学年末考査 | 48回生がヤバいっ |

兵庫県立伊川谷高等学校 校歌(1番)
作詞 黒部 亨
作曲 岡村 健治

若草の
萌ゆる岡辺に 囁はあふれ
清らかな命 まわ
とこえに たゆみなく
道の奥処を 究むるところ
うろち母校 伊川谷高校
学年キャッチフレーズ
笑顔・夢
校訓
自主協同



48th 緊急事態コール! 48回生がヤバいっ

全校集会で現状改善を訴える生徒指導部長

ミヤ私物で溢れかえり、トイレ内もお菓子の食べかすやトイレットペーパーの包み(黄色い紙)が散乱。果ては器物破損まで。『マジヤバいっ』です。本校10年在籍かつ、20年前の本校を知る本誌編集長の目から見て、
今が一番酷い!
基本的に『明るい話題』を提供している本誌が、記事にするのも、『本誌が保護者の方に読まれている』事に望みをかけたからです。
まだ残り1年もあり、現在のままでは多くの者の進路決定に支障をきたすかも知れない、そしてこの状況を打開するのは学年団の力だけでは困難極まるのです。是非とも我々教員だけでなく、生徒・保護者の方も含め、『これからの48回生』を考えていってほしい。マジでこのままでは、終わる。ヘルパー、エマージェンシー
これで落ち着いませへか



緊急事態継続!

『緊急事態発生』ではなく、『緊急事態継続』なのだ。
2学期後半から特に落ち着きがなくなりつつあった48回生に、学年団も『修学旅行が終わって落ち着きを取り戻してくれば』と願っていました。しかし現実はその逆、かえって酷くなっているかも知れません。
職員室内にある学年出勤ボードは日々、遅刻欠席者も『寝坊』『家出』の名で埋め尽くされ、遅刻者も『登校しても、急ぐ様子もなく友と談笑しながら昇降口を通る様子に、
終わってるやん!』
としか言いようのない学年団である。教室や廊下、新しくなったロッカー上は、
『あいつ、この期間裏でなにぞ?』
『表かな?』
『表かな?』
『間暗いかな?』
『かもてなし?』



遅刻欠席で埋め尽くされ... (一部をボカして)



旅行が終わって落ち着きを取り戻してあげたい。『これからの48回生』をマジでこのままでは、終わる。ヘルパー、エマージェンシー
これで落ち着いませへか



こんな感じで希望校ごとに

最後の校内マラソン大会!

『ラストランを次号に大特集』
1回生から『耐寒マラソン』と称して実施していたマラソン大会、23回生から今の『校内マラソン大会』に名称を変え、本年まで続けてきましたが、そんな伝統行事も、2月7日(金)にフィナーレを迎えました。詳細は次号にて!



総合運動公園を駆け回る本校生

進級をかけた学年末考査迫る!

夢は持ったか? それに向けて歩んでいるか? 迫るのはジョッカーだけではありません。2年生最後の試験『学年末考査』も間近に迫りました。3学期は修学旅行もあり、生徒休業日もありで、ここまで時間が本当に『あ!』
という間でした。試験範囲が狭い分、どの教科も中身の濃い試験になる事が容易に想像できますが、
GO!GO!
GO!GO!
GO!GO!

学年末試験時間割

	2/19(水)	2/20(木)	2/21(金)	2/25(火)	2/26(水)
人文社会&コミュニケーション	1限 文学国語	化学基礎	公共	論理表現Ⅱ	世界史/日英訳
2限 英コミュⅡ	家庭基礎	保健	※選択	古典探究	
※選択: 数学Ⅱ、ディベートディスカッションⅠ					
自然科学	1限 物理/生物	数学B	公共	論理表現Ⅱ	化学基礎
2限 英コミュⅡ	家庭基礎	保健	数学Ⅱ	論理国語	

進路ガイダンス

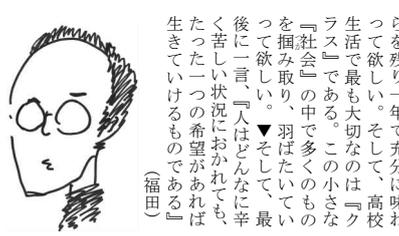
もう1年後には卒業です。その先の進路目標、決めてるよね。その目標に向けて進み出してるよね。という訳で、3月7日(金)に本校において『進路ガイダンス』が行われます。もうこの時期なので、今までの様に、『文型の大学をどこかに...』ではなく、
『〇〇大学の〇〇学部を考えた。』
『え、そんなにピンポイントで希望進路先の話をお聞かせます。』
『なでメチャたくさんの学校が来ます。就職・公務員希望者は別メニューです。もう、とくにそういう時期なのです。』
え、てます!ピンポイントで希望進路先の話をお聞かせます。なでメチャたくさんの学校が来ます。就職・公務員希望者は別メニューです。もう、とくにそういう時期なのです。

氷塊出現

2月の始め、イカ高を歓迎団で覆はる。寒気が覆はる。そして、イカ高のこの寒さの基準を表す目安として昔から使われていたのが『イカ高湖の水の厚さ』なのです。じわじわと厚さを増していき、2月6日(木)遂に1センチに達しました。それまでは氷が張っても指先ひとつでバリンと割れたものですが、この日は親指です。かち割った一部の氷塊を通りかかると、Mさんに持ってもらって、『冷たい、冷たいっ』と連呼されちゃいました。でもきつと春はすぐそこですよ。

天性人語48th

何故『学ぶ』のか、何故『学ばせる』のか、この問いに明確な答えはあるのだろうか。答えはYESである。『先の答えは答える人間、教える場所によって異なるものかもしれない。しかし、教える者であれば一度は自分自身に真剣に問うた事があるはずである。それを持たずして、『教える』事を職業にはできないからだ。▼私自身、様々な教育産業に携わり、先の答えはその都度変わった。そして今、高校教師として、先の答えはハッキリしている。▼『無知や偏見、傲慢さは人を傷付け、死に追いやる。知識と経験は人に希望を与え、生へと導く。だから学べ、そして、より多くを経験するのだ。生きるため、生かすために』▼知識の無き者に創造はできない。経験の無き者に他人の気持ちは理解できない。そして、実はこれらの事は、『教える』『教わる』ではなく、自分で『学び取る』ものなのだ。▼高校で得られる知識、高校でしか得られない経験、これらを残りの一年で充分に味わって欲しい。そして、高校生活で最も大切なものは『クラス』である。この小さな『社会』の中で多くのものを掴み取り、羽ばたいて、最後一言、『人はどんなに辛く苦しい状況におかれても、たった一つの希望があれば生きていくものである。』(福田)



伊川谷高校で培った『生きる力』が未来を作る

48回生の生徒が一生涯学習します。さらにガッツとレッツをGoする事です。10年後、20年後の将来に役立てます。一致団結した『心』の教育を目指し、教師陣も頑張ります!

笑顔のPRO神戸市の伊川谷高校育ちの生徒達

笑顔溢れる響きあう

検索

笑顔の生徒あふれる伊川谷高校

『学び始めてから毎日スツキリ。』
『暗記するのが億劫です。』
『勉強嫌いな私に嬉しい出会い。』
『毎日にハリがあつた。』

※体験後は在籍者の感想を想像してみました。

伊川谷高校(伊川谷) 078-974-5630 土日祝は除く

